

## パラグアイ内政・外交報告（8月分）

### 政治情勢

2019年9月作成

#### 1 内政

（1）イタイプ・ダム問題（アブド・ベニテス大統領他に対する弾劾裁判等）

ア：6日、野党下院議員は、アブド・ベニテス大統領、ベラスケス副大統領及びロペス財務大臣に対する弾劾裁判の実施を求めた。コロラド党のカルテス派議員は、カルテス前大統領の私邸で会合し、現在の状況について検討を行った。会合後、アリアナ下院議長は、同会合のスポークスパーソンとして、大統領及び副大統領に対する弾劾裁判に賛成しないことを確認したと表明した。また、アリアナ議長は、両院合同委員会が本件の調査を行う機関であり、弾劾裁判を実施するに足る証拠を集めるか否か確認すべきと述べた。

イ：7日、弾劾裁判の実施につき検討するため、議会が招集されたが、コロラド党議員が出席しなかったため、採決の定足数に達しなかった。

ウ：19日、イタイプ・ダムに係る伯との二国間合意に関する両院合同調査委員会が招集された。ファビアン・カセレス前ANDE技術責任者は、パラグアイの利益を損なうような二国間合意を署名した責任はカスティグリオーニ前外相及びサギエル前駐伯パラグアイ大使にあるとした。同前技術責任者は、合意への署名前に開かれた会合で、カスティグリオーニ前外相及びサギエル前駐伯大使に、合意書署名による不利益について詳細に説明したと述べた。続いて、カスティグリオーニ前外相が招集され、二国間合意署名交渉への自身の関与について証言した。前外相は、交渉プロセスにおいて、秘密もパラグアイの国家主権の引渡しもなかったと述べた。また、ANDEの電力売買に関する交渉の存在は知らず、本件交渉のヘッドであったサギエル前駐伯大使には、パラグアイの利益となるように交渉を進めるよう指針を示したと説明した。

エ：20日、アブド・ベニテス大統領、ベラスケス副大統領及びロペス財務大臣に対する弾劾裁判の実施は、下院において否決された。コロラド党内で合意されていたとおり、43名のコロラド党議員が反対票を投じ、弾劾裁判を阻止した。賛成票の数は36であった。

（2）アブド・ベニテス大統領就任1年の世論調査

ア：15日、当地ラ・ナシオン紙は、8月15日にアブド・ベニテス政権発足から1年が経過したことを受け、当地世論調査会社はICA Consultoria Estrategica社が実施した世論調査の結果を掲載した。同調査の結果によれば、回答者の13%がアブド・ベニテス大統領の政権運営を「非常に良い」或いは「良い」と評価したのに対し、64.5%が「悪い」或いは「非常に悪い」と評価した。昨年12月の調査結果と比較すると、「非常に良い」或いは「良い」との評価は17.1%減少し、「非常に悪い」或いは「悪い」との評価は24.4%増加した。

イ：8月15日～19日付当地ウルティマ・オラ紙は、8月15日にアブド・ベニテス政権発足から1年が経過したことを受け、当地世論調査会社Ibope CIESが行った世論調査の結果を掲載した。同調査の結果によれば、回答者の30.7%がアブド・ベニテス大統領の政権運営を「非常に良い」或いは「良い」と評価したのに対し、69.3%が「悪い」或いは「非常に悪い」と評価した。同政権の閣僚への評価については、回答者の83.8%が閣僚のうち誰かを交代させる必要があると評価した。

### (3) 国際テロ組織の指定

19日、パラグアイ政府は正式にヒズボラ、アル・カーイダ、I S I L及びハマスを国際的テロ組織として指定すると発表した。

### (4) カスティグリオニー前外相の上院議員復帰

20日、本年7月末に辞任したカスティグリオニー前外相が上院議員に復帰した。

## 2 外交

### (1) リーバス外相の「ベネズエラにおける民主主義のための国際会議」出席

5日から6日にかけて、リーバス外相は訪問中のペルーで「ベネズエラにおける民主主義のための国際会議」に出席し、スピーカーとして発言した。同外相は、始めに、パラグアイの政治情勢につき述べ、危機を乗り越えたことを強調しつつ、パラグアイの民主主義は確固たるものとなっているものの、法の支配及び国民の意思及び決断によって対応すべき課題に直面し続けている旨述べた。次に、ベネズエラの民主主義の再構築に向けて継続して支援して行く旨言及した。

### (2) ペルーとの外相会談

5日、リーバス外相は、訪問中のペルーで、ポポリシオ・ペルー外相と会談し、政府レベルだけでなく、貿易及び経済協力分野における二国間関係強化の必要性につき一致した。

### (3) リーバス外相のボルトン米大統領補佐官との会談

5日、リーバス外相は、ペルー訪問中のボルトン米大統領補佐官と、同補佐官の求めに応じて会談した。両者は、ベネズエラの政治的、人道的及び国外への脱出に関する危機とその影響、民主主義が回復した際に推進するイニシアティブについて意見を交わした。

### (2) イスラエル大使の信任状奉呈

21日、大統領府においてMagenイスラエル大使（在ウルグアイ・イスラエル大使館の兼轄）の信任状捧呈式が実施された。式典後、リーバス外相とMagen大使は、両国の関心事項について協議を行った。外相との協議後、同大使はメディアに対し、政策対話等のパラグアイとのあらゆる協力を再開すると述べた。同大使は、パラグアイに戻ることができたことに満足していると述べ、経済関係の促進に対する関心を示した。

### (3) パラグアイ・アルゼンチン首脳会談

23日、アブド・ベニテス大統領は、マクリ亜大統領とともに、ミシオネス県アジョラス市と亜コリエンテス州イトゥサインゴ市を結ぶヤシレタ・ダム国際道路の開通式に出席した。同開通式において、両首脳は会談を実施し、二国間の議題につき意見を交わした。

### (4) E F T AメルコスールF T A交渉の終了

24日、パラグアイ外務省はプレスリリースを発出し、メルコスールと欧州自由貿易連合（EFTA）の自由貿易交渉が終了した旨発表した。

#### （5）ピニェラ・チリ大統領のパラグアイ訪問

28日、ピニェラ・チリ大統領がパラグアイを訪問した。アブド・ベニテス大統領とピニェラ大統領は、両国の共通の関心事項であるチャコ地方及びアマゾンの森林火災について協議するためアスンシオンで会談した。

### 3 要人往来

#### （1）来訪

- 大前経団連日伯合同委員会企画部会長（JETROミッション）
- 中野北海道副知事（パラグアイ北海道入移住80周年）
- マクリ亜大統領（ヤシレタ・ダム国際道路の開通式典）
- ピニェラ・チリ大統領（チャコ地方森林火災視察）

#### （2）往訪

- リーバス外相，ペルー・リマ（「ベネズエラにおける民主主義のための国際会議」出席）
- ビジャマジョール内相，エルサルバドル・サンサルバドル（公務員汚職・経済犯罪等対策等に関する情報収集）
- ビジャマジョール内相，ウルグアイ（公務）
- リチ農牧相（当時），ウルグアイ・モンテビデオ（南部農牧水産委員会出席）
- リチ農牧相（当時），伯・リオグランデ・ド・スール（当時第42回 EXPOINTER2019 出席）